

平成 26 年度富山県計画に関する 事後評価

令和 5 年 11 月
富山県

事業の区分	1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO.2】 病床の機能分化・連携を推進するための 基盤整備事業 (病床機能分化・連携事業)	【総事業費】 40,704 千円
事業の対象となる区域	県全体	
事業の実施主体	病院	
事業の期間	平成 26 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	富山県において必要とされる回復期医療を確保するため、回復期機能病床（回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病床）の増床を図る。昨今の在宅医療の進展を受け、県内の医療現場においても回復期機能病床への転換を希望する病院が増加しており、円滑な転換を支援する必要がある。	
	アウトカム指標： 回復期機能病床の確保	
事業の内容（当初計画）	今後、富山県において必要とされる回復期医療を確保するため、回復期機能病床の増床を図る。 また、切れ目なく医療が提供されるよう、病院間の機能分担及び連携に向けた取組を進める。	
アウトプット指標（当初の目標値）	【R4】回復期機能整備施設数 3 箇所	
アウトプット指標（達成値）	【R4】回復期機能整備施設数 3 箇所	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： 回復期機能病床 769 床(H26) → 1,573 床(H30) → 1,829 床(R4)	
	<p>(1) 事業の有効性 本事業により、回復期機能病床への転換を希望する県内医療機関の円滑な転換が図られている。回復期機能病床の整備を行う医療機関の増加に向けて、制度の周知を図っていく。</p> <p>(2) 事業の効率性 転換に必要な基準額等を示すことにより、共通認識のもとで整備が行われ、効率的な転換が図られた。</p>	